

Banco Sumitomo Mitsui Brasileiro S.A. DAILY MARKET REPORT

BANCO SUMITOMO MITSUI
BRASILEIRO S.A.

Treasury Department

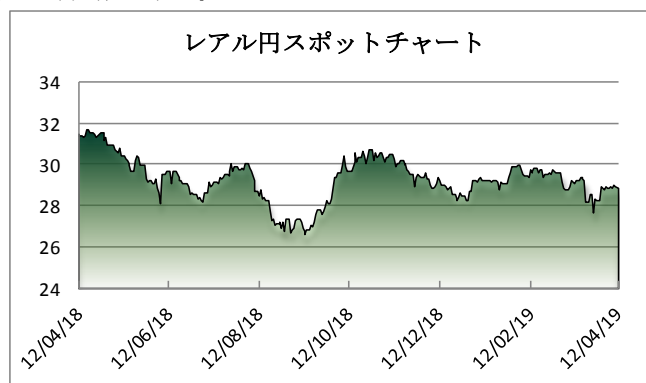
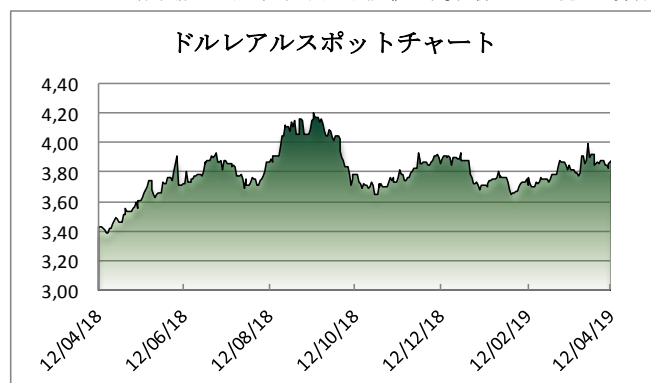
マーケットサマリー

先週末のドルレアルスポット相場は、政府とMaia下院議長の軋轢に再び焦点が集まった他、Valor紙が同下院議長を巡る汚職疑惑を報じたこと、Bolsonaro大統領が(経済政策の柱として掲げている自由主義的政策に反して)ペトロブラスが決定したディーゼル価格引き上げに介入したことを嫌気して、一時3.90台後半までレアルが急落。ボベスパ指数も2営業日連続で1%超の下落を記録するなど、年金改革法案を巡る楽観的ムードが一転。ブラジルマーケットからの資金流出が加速する地合いとなっている。同下院議長については、洗車作戦(ラバジャット)で多額の贈賄容疑が問題となった建設大手Odebrecht社が、14億レアルの賄賂を提供したと報じられており、同下院議長の義父にあたるMoreira Franco氏が拘束された際と同様に、レアル売りに拍車が掛かる懸念が高まっている(同下院議長は疑惑を否定)。また、ディーゼル価格引き上げについては、当初ペトロブラスが価格引き上げを決定したにも関わらず、同大統領とLorenzoni官房長官が同社CEOのRoberto Branco氏に圧力をかけ、決定を覆させたと報じられており、同社株も急落。昨年、燃料価格の引き上げがトラック運転手によるストライキを発生させ、ブラジル経済に深刻なダメージを与えたことから、政府が同様の事態を回避するために(不当に)介入したとの観測が強まっている(但し、同社は政権による圧力を否定している)。一方、Hamilton副大統領は、今回の決定は、「国民生活に与える影響を最小限にするための最善策であり、介入を意図したものではない」と、事態の沈静化に努めている。

マーケットデータ

Indicator		Unit	4月11日	4月12日	前日比	1ヶ月前比	(年初来) 高値	(年初来) 安値
レアル	対ドル	BRL	3,8604	3,8816	0,55%	1,84%	3,6374	4,0158
	対円	JPY	28,93	28,86	-0,24%	-1,22%	30,08	27,53
	対ユーロ	BRL	4,3441	4,3865	0,98%	1,95%	4,1646	4,5069
円	対ドル	JPY	111,66	112,02	0,32%	0,59%	104,87	112,14
	対ユーロ	JPY	125,66	126,57	0,72%	0,69%	118,71	127,50
Bovespa (ブラジル株価指数)		Index	94.755	92.875	-1,98%	-5,06%	100.439	87.536
CDS Brazil 5yrs		bps	170,30	169,75	-0,32%	8,19%	209,52	149,43
Brazil 10yrs Gov. Bond		%	8,91	8,97	0,67%	1,91%	9,34	8,70
DI Future Jan20 (金利先物)		%	6,48	6,47	-0,15%	0,86%	6,69	6,32
3 Months US Dollar Libor		%	2,59675	2,60100	0,16%	0,30%	2,8039	2,5813
CRB Index (国際商品指数)		Index	187,33	188,36	0,55%	3,89%	189,68	168,26

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。



<オンブスマン連絡先: 0800 722 2762>

本レポートは情報の提供を目的としており、何らかの行動を喚起するものではありません。ここに示した意見は本レポート作成現在の筆者の意見を示すのみです。データや数値の抽出範囲・基準は任意で設定している場合があります。データ・資料等については、数値等の誤りが含まれている可能性があります。本レポートに基づき、お客様が投資のご判断をされた結果生じた損害・損失については当行は一切責任を負いません。投資や資金運用に関する最終決定は、お客様ご自身で判断されるようお願い申し上げます。本レポートの全部または一部の無断コピー・転載はご遠慮頂きますようお願い申し上げます。